



SANUMA

VOL46

週報

佐沼ロータリークラブ



ロータリーの未来は
あなたの手に

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

2009-2010年度 国際ロータリーのテーマ

例会場 サンシャインプラザ21 ☎22-8988
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 サンシャインプラザ21 ☎22-8988

(2009~2010年度)

会長 二階堂 學
幹事 菅原 文之
会報 氏家 良典 秀 義 弥子
小竹 秀敏 富士原 裕

第2231回例会 2009. 11. 12 No.17

本日の出席率

- ・本日の出席率 66%
- ・前回確定出席率 100%

ニコニコボックス

- ・二階堂學会長 「人と野生動植物の共生を考えるつどい」に参加してみませんか。お願いします。
 - ・只野佳旦会員 本日のスピーチは、私の担当です。よろしくお願ひ致します。
 - ・富士原裕子会員 今日は冬晴れの気持の良い日ですね。これから少しずつ寒くなっていきます。会員の皆様風邪の流行には乗らずに、健康に充分注意しこの冬をのりきっていきましょうね。只野佳旦会員のスピーチ、楽しみにしています。
 - ・鈴木彦太会員 本日遅刻、早退。只野佳旦会員のスピーチを楽しみに。
 - ・阿部賢悟会員 2週にわたって例会欠席致しました。只野佳旦会員のスピーチ、楽しみです。
 - ・佐藤敬喜会員 本日遅刻、早退。
 - ・布施孝之会員以下 只野佳旦会員のスピーチに期待して。
 - 村上武彦会員 飯塚仁哉会員 佐々木崇会員
佐藤幸一会員 阿部泰彦会員 千葉吉男会員
菅野幸一郎会員 田次雄会員 山田直志会員
佐藤静市会員 遠藤光則会員 佐々木源悦会員
猪股育夫会員 熊谷敏明会員 佐々木功会員
小泉洋会員 小野寺伸浩会員 二階堂敏雄会員
佐々木一寛会員 武川毅会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 二階堂學会長

最近、新型インフルエンザのため学校が休みというような大変な事態になっているように、新型インフルエンザが猛威を振っているという状況にあります。そ

ういった中で、登米市市民生活部環境課に、市民や各団体の長の方や環境に深くかかわっている方々の組織、登米市環境市民会議があり、3部会の1つ、自然環境の保全・創造部会の主催で「第1回人と野生動植物の共生を考えるつどい」が開催されます。急で誠に恐縮に存じますが、「美しい水と緑のもとで野生動植物と共生できる社会を目指して」活動する環境市民会議主催の講演に、ロータリー会員皆様のご参加をお願い致します。

今年度の国際大会は、カナダ・ケベック州モントリオールで、来年6月20日~23日に開催されます。登録料は1人395ドルですが、2009年12月15日までの登録は295ドル(約25%カット)、2010年3月31日までの登録は345ドル(約12.7%のカット)ですので、参加希望者は、早目の登録をお勧めします。

幹事報告 佐藤静市副幹事

・ガバナー事務所より

1. 国際ロータリー第2520地区ガバナー・ノミニ(2011~2012年度ガバナー)決定のお知らせ、菅原一博会員(仙台RC)
2. 米山記念奨学会セミナー及びクラブ奉仕・職業奉仕委員会セミナーの報告書が届く。

・ガバナーエレクト事務所より

1. 次年度クラブについての書類提出依頼
 2. ガバナーエレクト事務所開設の案内
- 所在地 盛岡市盛岡駅前通1-4-4
ホテルメトロポリタン盛岡本館5階
電話 019-654-0550
FAX 019-654-0551

- ・ロータリー財団委員会 年次寄付・恒久基金小委員会、大島達治委員長より「ロータリー財団寄付に関するアンケート」の集約について。

各委員会報告

・環境保全委員会 (山田直志委員長)

「第1回人と野生動植物の共生を考えるつどい」のお知らせ

日時 平成21年11月13日(金) 午後7時~9時
場所 登米市役所南方庁舎 2階大会議室

会長要件にもありましたように、急でしたので、皆様にはFAXにてお知らせし参加の出欠をとらせていただきました。席に余裕がありますので興味のある方は、ご参加下さい。

誕生祝 (11月に誕生日を迎えられる会員)

熊谷敏明会員

今週のスピーチ (担当: 只野佳旦会員)

入会して初めてのスピーチです。不慣れですので割引いて聞いていただければと思います。

生れは宮城県の丸森町、県の最南端に位置し、東は相馬まで20分位、西は蔵王の入口まで30分位と、鳴子について非常に東西に長く広い面積の所で、川は阿武隈川という清らかな川が流れている所でもあります。最近、河北新報の土曜日連載で、森まゆみさんという方が「丸森いたり、きたり」のテーマで丸森のことをつぶさに紹介されておりますけれども、住んでいた私にしてみれば半分位かなという感じです。いい所に生まれ育ちましたが、学生の時、家内と巡り会いまして、23.5歳の時に当時の登米郡豊里町に来て、人生の半分以上をこの登米に置いておりますので、多分、骨もこの地に埋めることになるのではないかなと思っております。親に続いて2代こういった会を通じて皆様にこれからお世話になっていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

皆様も立場立場で、政権が代りまして不利有利色々あると思いますが、どうやら私の方の業界は、浅野知事(10年前)の入札制度改革から始まってからいい思いをほとんどしていないのが実状です。年々厳しくなってきた中を何とか知恵と工夫と努力で乗り切ってきた業界ですけれども、政権が代って非常に厳しい、補正予算もあつたのですが、選挙後、2次補正の方は執行なしということと、今、来年度予算を編成していますが、14%以上の公共事業カットと言うことは、我々は公定費がありますから、大体3~4割位、言葉で言うのは簡単ですが、相当ひどい数字が来年度は確実に減ると言うことで、どうしたものかと言うところの日々を、8月30日以降毎日忙しく過ごしておりました。

親もとても旅行が好きでしたけれども、私も旅行が好きですので、今日は、中国の話をしさせてもらいたいです。

実は、先週も上海の方に行って参りました。日経新聞の一番裏面に、去年のちょうど今頃から、高樹のぶ子さんの小説「ガンクウ上海」が連載されておりました。上海を舞台に、日本から単身上海に来て、仕事を展開して成功するのですが、去年の11月のいわゆる

リーマンショックと同じ様に少しずつ落ちていく。その間に、恋愛をしたり、使用者があとのかかわりがあったりと言うような小説だったのですが、毎日読んでおると、私も上海に何10回も行っていますから「あそこを通ったなあ、あそこの店に行ったなあ」ということがよく目に浮かんでいました。興味を持って読んでいて、今年のうちにもう1回行って確かめたいと思ってたところ、ようやく日程がとれて、11月のはじめに行ってきました。

小説の内容は省略しますが、天童寺というお寺が最後の舞台になりまして、恋に破れた彼氏と、もともと自分が使っていた女子社員が実はできていて、そのお寺で子供を産むというストーリーなのですが、その描写が非常に微妙で何としても行って見たい。といひますのは、その天童寺が、曹洞宗の永平寺を開いた道元禪師がそこで修行した所でもありましたので…場所は上海の南200km位で、浙江省の省都杭州に杭州湾があり、その南の寧波から東に25kmの所に天童寺があります。

どうして、この寧波が私のイメージ的にあつたと言ひますと、7年前、ひょんなことから、マレーシア国籍の華僑の人と友達になりました。衝撃的な出会いというのかね、私よりも歳は下なのですが、華僑ですから非常に野心に燃えて、これから大陸に、彼にとっては故郷に錦をというところでしょうが、打つて出るという話を得々と私にしました。彼は加興に工場を建て事業をするのだと、「只野、お前も金を出してくれ」と言うことで、少しばかり出しました。彼は、もともと、マレーシアで事業をしていますのでお金はあると…私も色々中国を見ておりましたので、前の流れから中国の発展の素晴らしさが注目されているという確信から、アンテナ即ち情報を得る意味で少しばかり出資をさせていただき、日本で言う取締役、中国で言う經理という位置付けになっており、最初に踏んだ所が寧波の対岸、加興でした。そんなところから寧波という自分の思いがあり、そこには、7年もかかって36kmの橋を掛けられ、昨年開通しました。いつか、その橋を車で走ってみたいという思いがあり、寧波の天童寺と小説と橋が結びついて今回の旅行が実現しました。4日間でしたけれども意義のある旅行でした。

一話は、華僑の彼のその後等ありましたが、紙面の都合上、割愛させていただきました。



11月に誕生日を迎えられる会員